

フォローアップ研修を実施しました！

鶴ヶ峰ふれあいの樹林(横浜市旭区鶴ヶ峰一丁目)
令和7年5月10日(土)

旭区にある鶴ヶ峰ふれあいの樹林でフォローアップ研修を実施しました。鶴ヶ峰ふれあいの樹林は面積約2haの落葉広葉樹を中心とした雑木林です。研修には、じゃんぐる山の会(鶴ヶ峰ふれあいの樹林愛護会)より13名の御参加がありました。その研修の様子を紹介します。



Now

シュロソウの数が維持できている。現況程度の明るさが丁度いい。



明るくなった林床

Future

シュロソウの数をモニタリングしながら今の管理を継続してもらいたい。



確認したシュロソウ

Now

南側外周の幅刈りを行ったので、森が明るくなった。

Future

乾燥しやすくなったので、今後の植生の変化を観察していく必要がある。

その他、緑地の面積が小さいと、そこに生息・生育できる生き物は少なくなってしまうが、小さな緑地が点在することで「緑」のネットワークができ、地域全体で生き物の生育場所が増える可能性が高まることを研修参加者で共有しました。

よこはまのいきものハンドブックご活用ください！

横浜市環境科学研究所が作成した「よこはまのいきものハンドブック」では、市民の森などで見られる生き物を紹介しています。横浜市庁舎3階の市政刊行物・グッズ販売コーナー、よこはま動物園ズーラシア(アクアテラスギフトショップ・オーガーヒルギフトショップ)、金沢自然公園(ののほなギフトショップ)にて500円で販売しているほか、横浜市のウェブページでダウンロードいただけます。ぜひご活用ください！



よこはまの森

No.125

ニュースレター

横浜市みどり環境局環境活動事業課 〒231-0005 横浜市中区本町 6-50-10
tel045-671-2624 fax045-550-4554 よこはまの森ニュースレター HP 二次元コード ⇒



横浜みどりアrita計画
森づくりを担う人材の育成事業の財源の一部に横浜みどり税を活用しています。

暑さに気をつけて、楽しく活動しましょう！

暑い季節がやってきました。7~9月の気温は、高い見込みです(6月24日 気象庁発表)。
令和7年4月23日から「熱中症警戒アラート」の運用が開始されています。
横浜市のHP※1※2を参考に、熱中症予防についてまとめました。

大事ななのは次の4つ



① 水分をこまめに摂取



② 服装の工夫



③ 暑さを避ける



④ 日頃からの健康づくり

※1
<https://www.city.yokohama.lg.jp/kenko-iryo-fukushi/kenko-iryo/kenkozukuri/kakushu/necchusho/heat.html>



※2
<https://iryo-dashboard.city.yokohama.lg.jp/heatstroke/>



森づくり活動では！

ワンポイント！

①活動の前日まで

睡眠を十分にとり、バランスの良い食事をこころがけましょう。

早寝、早起きは基本の「き」。
ご飯もおいしく、バランス良く！

②活動の当日

体調が悪い時は、お休みしましょう。

体調が悪ければ無理せず休む！
次の活動をお楽しみに。

③活動中

水分をこまめに摂取！のどが渇く前に、水分を取ることが重要です。一度に多く水分を取るのではなく、少量をこまめに取るほうが効果的です。

集合したら「ひと口！」
準備作業で「ひと口！」
草刈作業で「ひと口！」
何かやったら「ひと口！」
ひと仕事したら「ひと口！」

④服装の工夫

汗を吸収し、通気性のよい素材が効果的。

いまは、材質もいろいろ。
自分にあうものを探して快適に！

⑤みんなで声をかけあいましょう！

時々、メンバーの顔を見て、声をかけあいましょう。

様子が違う仲間がいませんか？
我慢しないで、仲間を頼りましょう！

森の鳥・植物を見てみましょう！

横浜の森には、いろいろな動物、植物が生息・生育しています。これらの動物・植物のうち、森でよく会う鳥、よく見る植物を紹介します。

黒いベレー帽と長い尾羽 オナガ

森の中を歩いていると、木と木の間をフワッと飛んでいる鳥を見かけたことはありませんか。そんな時は、立ち止まって見上げてみましょう。

黒いベレー帽に白いお腹と淡いブルーの長い尾の鳥。尾の先端は白いですね。この鳥はオナガです。あとから他のオナガも飛んできました。この鳥は、群れで行動することが多いです。上層の植生を利用していることが多いですが、林床も使っているようです。

鳴き声は、濁った感じの「ゲー、ゲー」もしくは「ビューイ、ビューイ」というふうに聞こえます。大きな声なので聞いたことがあるはず。他にも尻上がりな「ケ、ケ、ケ、ケ、ケ」などと鳴くことがあります。カラスがやってきた時は激しく鳴きます。

どんな時にどんな鳴き声をしていますか。オナガを見つけたら、鳴き声を少し聞いてみましょう。

オナガの群れが飛び立っていくな、となりの森に行くのかもしれないね。となりの森にはどんな草木がありますか。この森と同じでしょうか。わたしたちも、時には、他の森に行ってみましょう。いつもとは違う森を楽しめるかもしれません。

オナガに似た名前の鳥、エナガ。こちらも尾が長い鳥です。「トゥルル、トゥルル」と聞こえる声で鳴きながら、目線もしくは目線より少し高いくらいの中・下層植生を素早く移動していることが多いです。オナガは全長40cm前後ですが、エナガは全長15cmくらいで小さい鳥です。素早く動いて、なかなかじっくり見られません。木にとまったと思ったら、あっという間にどこかへ……。

北海道にエナガの亜種シマエナガがいます。最近はグズズになっているのを見かけます。



人や動物と関わりのある ウワミズザクラ

ウワミズザクラはバラ科ウワミズザクラ属の落葉広葉樹で、樹高10～20mになる樹木です。北海道・本州・四国・九州に分布し、日当たりのよい丘陵から山地に生育します。神奈川県内では、シイ・カシ帯からブナ帯の下部で見られます。横浜市内の樹林地でもよく見られる樹木の一つです。

葉に蜜腺^{みつせん}と呼ばれる腺体^{せんたい}を持ち、蜜を出します。この蜜はアリの好物です。アリは蜜をもらう代わりに、葉を食べる昆虫類を寄せ付けず働きをし、害虫から守ってくれる役割を果たしています。ウワミズザクラとアリは、共生関係にあります。

花期は4月中旬頃となりますが、コップを洗う細長いブラシのような白花は、とても桜の仲間とは想像できない形状をしています。花が咲くのと同時に葉を出すヤマザクラや、花が終わってから葉を出すソメイヨシノなどのサクラ類とは異なり、葉が完全に開いてから花を付けるのも特徴です。開花期間は1週間から10日程度になります。



ブラシ状の花

新鮮な葉や花は、いずれも鎮咳去痰作用があると言われております。

果実は中心に硬い種を持ち、長さ約6～7mmの卵形になります。緑色の若い果実は、8月から9月頃に赤色から黒色に熟します。新潟県などでは、若いつぼみや完熟前の実を塩漬けや酒につけて食用にする伝統があります。これは杏仁香（あんにんご）と呼ばれ、杏仁のような香りが特徴です。また、ヨーロッパでは果実をウイスキーなどに入れて、味を付けて楽しむそうです。



つぼみと花

繁殖は種子散布によるものが主体で、鳥類などが果実を食べ、各所で糞をすることによって、分布を広げています。横浜市内ではヒヨドリ、ムクドリ、メジロ、キジバト、今回森でよく会う鳥としてご紹介しましたオナガなどが関わりを持っています。樹林地では、実生^{みしょう}で発芽をした幼木のウワミズザクラを見る機会も多いと思います。



果実（緑色→赤色→黒色に変化します）

ウワミズザクラは、新緑・花・果実・紅葉（黄葉）など四季を通じて観賞を楽しむことができ、人やアリ・鳥類などの動物と関わりのある樹木です。

